

はしもとじょうせき いしいようがい 橋本城跡と石井要害

はしもとじょうせき よなごしなるみ ひょうこう どくりつさんりょう つく
橋本城跡は米子市成実の成実小学校裏の標高108mの独立山稜に造られた

ちゅうせいやましろあと さんちよう かくせき ななおじょう ほうせき
中世山城跡で、山頂には数段の郭跡が残っています。またの名を七尾城、宝石

じょう じょうしゅ ゆきまつげん たひょうえし おだかじょう かま
城とも呼ばれています。城主は行松源太兵衛氏と伝えられ、尾高城を構えて
いた行松氏の一族と伝えられています。

いしいようがいあと こだか どくりつきゅうりよう
石井要害跡は橋本城跡の東にある小高い独立丘稜に造られた中世城跡です。

めぐ やかた
城は丘稜を三段に削り周囲に掘りを巡らしていた館であったと考えられてい

ます。城主はかたやまこしろう ほっしょうじいったい しはい
片山小四郎氏と伝えられ、片山氏は法勝寺一帯を支配していた

ゆうりよく こくじん
有力な国人。



はしもとじょうせき
橋本城跡



いしいようがいあと
石井要害跡